

藍住西小学校で河川環境学習を開催しました。

藍住西小学校4年生の児童を対象に、「正法寺川をきれいにするための取り組み」と「川での遊びの注意事項」の話をした後、「汚水のお話」で自分達が普段どのくらい水を使用しているか、また污水处理施設のことや汚水がきれいになるしくみ等について学びました。最後に、身近な川の水や生活排水の水質検査、透視度検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

【実施概要】

日 時：平成23年6月29日（水）10：40～12：10

場 所：藍住西小学校 体育館

参加者：藍住西小学校 4年生 3クラス 113名

徳島県 河川整備課 1名

徳島県 下水環境課 2名

藍住町 下水道課 2名

フジタ建設コンサルタント 5名

内 容：1 正法寺川をきれいにするための取り組み 徳島県 河川整備課
2 汚水のお話 徳島県 下水環境課
3 水の汚れの原因（水質実験 パックテスト） フジタ建設コンサルタント

感 想：汚れた川をきれいにするために、色んな取り組みをしていることが分かりました。
微生物は汚い水にいるイメージがありましたが、水をきれいにしてるのが分かり、とてもおどろきました。
川をきれいにするために、食べ物を残さないようにしたいと思います。
川に遊びに行くときは、大人の人と行こうと思います。

【活動状況】

○「正法寺川をきれいにするための取り組み」



身近にある正法寺川は、さまざまな原因によって川の水が汚れやすい環境であるということや、川をきれいにするための県や住民の取り組みの内容について学習し、川の環境を守っていくことの大切さを学びました。その後、川遊びの注意事項について、パンフレットを基に説明しました。

○「汚水のお話」



次に、汚水や汚水処理施設について学習しました。水をきれいにする微生物の動画スライドを見たり、自分達が普段使って汚れた水が、どこでどのようにしてきれいになっていくのかを学びました。



『マンホールのフタ実験』

○、△、□のうちどれが落ちないかという実験をして、○の形をしたフタだけが落ちないということがわかりました。



『トイレットペーパー等を使った実験』

紙は水に流してもいいかということで、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、新聞紙を使って実験をしました。結果は、トイレットペーパーだけが水に溶けました。



休憩時には汚水や汚水管等のサンプルを見たりして、子供達はとても興味深く学習に取り組んでいました。

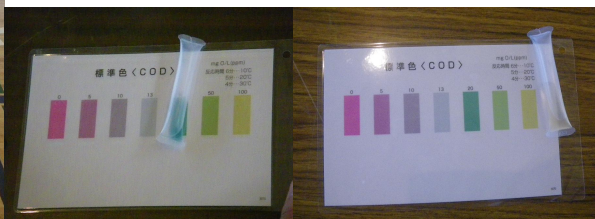
○「水の汚れの原因」水質実験（パケットテスト、透視度測定）

最後に、水の汚れの原因となる生活排水を身近にある食品（牛乳、みそ汁、しょうゆ等全8種類）を用いて作り、パケットテストでCOD（化学的酸素要求量）を測定し、どのくらい水を汚すかを調べたり、正法寺川と吉野川の透視度を測りました。また、残した食べ物を安易に流しに捨てることによって川がどれほど汚れてしまうかを知り、水質浄化のために自分達ができることを学びました。



『パケットテストによる水質実験』

最も数値が低かったのは、吉野川の水と米のとぎ汁の「5」でした。反対に最も数値が高かったのは、焼肉のタレで「100」でした。



『透視度測定』

正法寺川の水と、吉野川の水の透視度を測定しました。測定結果は、正法寺川→40cm、吉野川→62cmで、吉野川の水の方がきれいということがわかりました。

○質問タイム



微生物に関する内容について質問がありました。子供達の知的好奇心や環境学習に対する意欲が感じられました。